

# 教育ビジネス

子育て世代から専門家まで楽しめる教育の教養

宮田純也  
Naoya Miyata



All About THE  
**EDUCATION  
BUSINESS**

CROSSMEDIA PUBLISHING

## はじめに 教育界で起こっている150年ぶりの大転換

日本の教育界はいま、明治時代以来およそ150年ぶりの大転換期を迎えています。この流れは日本にとどまらず、世界中で起こっている現象です。

「人生100年時代」の提唱者で、人材論・組織論の世界的権威であり、ロンドン・ビジネス・スクールの教授を務めるリンダ・グラットン氏は「新時代に突入した私たちは従来の学校が果たしてきた役割や意義を再定義する必要がある」と述べています。

教育の世界は、すでに学校教育を経験した私たちの時代とは大きく形を変えようとしているのです。

その背景にあるのは、現在進行中の「情報革命」です。私たちは、人類史上3度目の社会革命が起こり、社会の形やあり方が大きく変わる時代に生きているのです。

これまでは、与えられた価値観や目標のもとに行動する人を育てる教育で問題ありませんでした。しかし、これからは自らさまざまな価値観や目標をつくり、行動する能動的な

**人を育む教育に転換する必要があります。**

教育という言葉は、古代中国の孔子や孟子の時代にまでさかのぼることができます。中国の古典『孟子』では、この言葉が「教えて之を育む」という意味で使われています。「教育」とは、誰かに学びを提供し、その人を育成していく活動だと言えるでしょう。

それでは、そもそも人は何のために学ぶのでしょうか。

自分自身の自己実現のため、そして、その結果として、よりよい社会を創るためです。そうだとすれば、教育業界の大転換はこれから教育を受ける子どもたちだけに関係するものではありません。

社会が大きく変化する時代を生きる私たち自身にとっても、学んで行動していくことが、よりよい人生やキャリア形成のためにより一層大切になってきます。だから、教育業界の大転換は、子育て世代はもちろん、あらゆる世代に関係する事象だと言えます。

教育を取り巻く業界の大きなトレンドは、デジタル化による多様化・多極化です。私たちの社会はデジタル技術によって変革がもたらされます。それによって、社会と人生は、

一層多様化していきます。

このような時代によりよく生きることを目指すとき、教育という営みはやはり一人ひとりととって重要性を増していきます。さらに、社会の多様化によって「教育」の概念や取り組み自体も多様化していくのです。それに対応し、さまざまな「教育ビジネス」が登場しつつあります。教育ビジネスにも地殻変動が起こっているのです。

「学ぶこと」に関わるビジネスを「教育ビジネス」と呼ぶとすれば、教育ビジネスはあらゆる場所に存在します。たとえばYouTubeで何らかの学習コンテンツを配信することも教育ビジネスだと言えるでしょう。教育ビジネスは私たちの身近にあふれ、私たちの生活に組み込まれています。また、自らがサービスを受ける側になるだけではなく、サービスを提供する側になることも比較的容易でしょう。

したがって、本書の対象者は、現役の先生や先生を目指す方、そしてすでに教育業界に従事している方だけではありません。教育に関心のある保護者の方、学びを通してよりよいキャリアをつくっていききたい方、さらには自らの問題意識を掘り下げることで、教育に関わるサービスを新たに展開することに関心がある方など、さまざまな方の役に立つ本を

目指しています。

私自身は、さまざまな役割で教育に携わってきました。まず、主に学校教育を主領域として全国から数千人の教職員などが参加する日本最大級の教育イベント「未来の先生フォーラム」創設をはじめ、さまざまなプロジェクトをプロデュースしてきました。

さらに、自らも起業して、朝日新聞社に自分の立ち上げた企業を売却すること（いわゆるEXIT）も経験しました。そして、現在は学校法人宇都宮海星学園の理事と公立大学法人横浜市立大学の特任准教授も務めています。

このように公教育から教育ビジネスまで幅広く関わるなかで得られた知見を活かして、本書を執筆しています。

本書では、学校教育とそれを取り巻く環境を中心に、変化する時代の変化する教育ビジネスについて、多角的な視点でその現在と未来について幅広く取り上げていきます。

教育という営みについては、それぞれの方の経験にもとづいた先入観があるのではないかと思います。本書では「教育」の本質的・普遍的な側面にも触れながら、「最近はこんな

風になっているのか！」といった驚きによって先入観を取り払うことで、大きく変わる教育ビジネスについての知見が深まるような内容をできるだけ扱っていくことを心がけています。

最初からすべてを読まなくても、興味のあるところを読んでいただくだけで理解が深まると思えます。ぜひ肩の力を抜いてお楽しみください。

最後に、2点、断りを入れさせていただきます。

1つ目は、本書は「教育ビジネス」を標榜していますが、ビジネスではない公教育について取り上げていることです。専門家や業界の方からすれば、両者が一緒に語られることに違和感を覚えるかもしれません。

ですが、いま私たちが生きている高度情報社会では、さまざまな壁が融解し、重なり合うことで新たなものが生まれ、進化しています。教育もこの流れを免れることはできません。そんな状況を解説する本書を読み進めれば、教育ビジネスと公教育を関連づけて取り上げることの意義をご理解いただけるのではないかと考えています。

2つ目は、できるだけさまざまなトピックを紹介したいと考えているので、入門レベルの内容になっていることです。本書がさらに学びを深めていただくきっかけになれば嬉し

く思います。

それでは、大きな転換期を迎えている教育ビジネスの現在と未来について、一緒に学んでいきましょう！

はじめに 教育界で起こっている150年ぶりの大転換	002
---------------------------	-----

## 第1章 Chapter 1 : The World of School Education

# 明治維新とGIGAスクール構想から学ぶ学校教育の世界

1 教育の大転換の背景にあるもの	016
2 「人生100年時代」に求められる力	021
3 なぜ教育が大切なのか	025
4 世界で最初の学校	029
5 明治時代に公教育が生まれた理由	033
6 市場化が進む公教育	037
<b>COLUMN</b> 学校教育だけが公教育ではない	041



第2章 Chapter 2 : The World of Educators

# 「チームとしての学校」から学ぶ 教育従事者の世界

1	先生と教員はどう違うのか	046
2	なぜ教育改革を進めることは難しいのか	050
3	ティーチングからコーチングへ	054
4	なぜ教員の仕事は「ブラック化」してしまうのか	058
5	スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラー	062
6	教員と企業が共創する時代へ	065
COLUMN	よりよい公教育を実現するために必要なこと	069

### 第3章 Chapter 3: The World of Curriculum

## 探究学習から学ぶ カリキュラムの世界

1	学習指導要領はどうやって決まるのか	074
2	学校のカリキュラムはどうやって決まるのか	077
3	コンピテンシーベースの学びとは何か	081
4	新型コロナウイルスが学校教育に与えた衝撃	086
5	探究学習が授業の中心になる時代	091
6	多様化する教材やプログラム	094

<b>COLUMN</b>	世界の教育改革はいま、どこに向かっているのか	098
---------------	------------------------	-----

### 第4章 Chapter 4: The World of Educational Problems

## 不登校から学ぶ教育問題の世界

# 少子化から学ぶ教育機関の世界

## 第5章

Chapter 5: The World of Educational Institutions

1	不登校とは何か	1
2	学びへの意欲を失う子どもたち	0
3	心理的虐待と不登校	8
4	教室マルチリトメント	1
5	発達障害のある子どもを支援する	1
6	学校以外の多様な学びの発展	2
COLUMN	民間企業が教育問題の解決に貢献する	2
		8

1	進む少子化とその影響	1
2	大学全入時代とは何か	3
3	日本・ドイツ・アメリカの教育制度	7
4	新たな学校の増加	4
5	「人生100年時代」と生涯学習	5
COLUMN	レクリエーションからリ・クリエイションへ	6

第6章 Chapter 6 : The World of Exam-Oriented Education

STEAM教育から学ぶ  
受験教育の世界

1	『学問のすゝめ』から見つめる学歴社会と受験	160
2	高大接続改革が目指すもの	163
3	逆風の塾業界	167
4	低年齢・過熱化する中学受験	172
5	塾業界で広がるSTEAM教育	175
COLUMN	問われる親の「教育リテラシー」	178

第7章 Chapter 7 : The World of Private Education

アフタースクールから学ぶ  
私教育の世界

## 第8章 Chapter 8 : The World of Online Education

# 協働学習から学ぶ オンライン教育の世界

1	なぜ幼児教育は大切なのか	1
2	変わる放課後の過ごし方	8
3	インターナショナルスクールの台頭	7
4	増加する海外進学と留学	19
5	私教育の興隆	9
6	大人にこそ学びが必要な時代	0
	<b>COLUMN</b> 多種多様な幼児教育機関	4
1	ひとつになる世界とオンライン教育の広がり	1
2	通信制高校の台頭	0
3	ICTが可能にする学びの精密化	1
4	全米一の進学校のオンライン教育	3
5	協働学習の重要性	8
		2
		2
		2
		2
		5

## 6 マイクロラーニング需要の高まり

**COLUMN** オンライン教育の代表的な方法 ..... 235

## 第9章 Chapter 9 : The Future of Education Business

### Aーから学ぶ

### これからの教育ビジネスの世界

1 生成Aーと教育の現在地 ..... 240

2 知行合一とナラティブの重要性 ..... 243

3 創造性を高めるアントレプレナーシップ教育 ..... 246

4 意思決定の力を鍛える金融教育 ..... 249

5 進化するキャリア教育 ..... 252

6 私教育が人生DX時代の鍵を握る ..... 256

**COLUMN** Aー時代のキャリアと人生形成に大切なことは何か ..... 259

おわりに 教育という営みの奥深さ ..... 265

参考資料 ..... 268